



長房だより

～校訓「強く 正しく 美しく」～

令和8年1月16日

地域運営学校

八王子市立長房中学校

【第9号】

“have to do” か “want to do”か

校長 上田 太

今年は地平の低い雲の上から力強い初日の出が望まれました。保護者・地域の皆様はご家族とともに健やかな新年を迎えられたことと思います。新しい年を迎え、教職員一同、心新たに生徒達の健やかな成長に全力で取り組んで参ります。昨年同様にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年令和8年、西暦2026年の干支は、丙午（ひのえうま）です。十干の丙（ひのえ）も十二支の午も、どちらも火のエネルギーを象徴するとされます。そこから丙午生まれの女性は気性が荒く災いをもたらすと言伝えられた結果、60年前の昭和41年には出生数の減少が顕著でした。エネルギー的な女性が増えていることは良い意味で、もはや当たり前になってきていますから、迷信に左右されず一人でも多くの子どもが生まれる社会であってほしいと願います。

8日の始業式では、1年の始まりにあたり一年通じて忘れてほしくないこととして、2つのことを伝えました。ひとつは、(新しい一年の「誕生」になぞらえ、中島みゆきさんの「誕生」という曲を聴いてもらいながら)「生まれた時に誰もが聞いたはずの“WELCOME”」を忘れないで欲しいということです。辛いことに出会った時にも、誰もが生まれてきた時に誰かから祝福されたことをどんな時も忘れないで欲しいという願いです。もうひとつは、人生を開く「運・鈍・根」という言葉のように、運を開く人との出会いを大切に、上っ面に流されず腰を据えてしぶとく根を張るように生きていこうということです。この一年を強く生き抜いて欲しいと願いを込めました。

ところで、子どもたちも大人たちも、思いを伝えたり考えたりするときに必ず言葉を使います。この「言葉の使い方」について改めて考えてみたいと思います。

思いを伝えたり物事を考えたりする時に、どのような言葉を使うのかによって、伝わり方や結果が大きく異なることは日頃の経験からしばしば感じることです。よく、「自分の口から発した悪い言葉は相手に届く前に何よりも自分の耳が真っ先に聞いているのだから気を付けなさい。」などと言います。その言葉によって影響を受けるのは第一に自分自身だと。それが自己暗示になり自分自身のふるまいもその言葉のようになってしまいがちです。反対に、良い言葉、丁寧な言葉の中にいれば、考え方も行いもより良くなるわけです。つまりどんな言葉を使うかでその人の人生も決まってしまうとすら言われます。だから学級や家庭でどのような言葉が行き交っているかは重要な問題なのです。

そこで、ポジティブな言葉を活用した目標実現の手法として、アフメーション(*)という考え方があります。これは、「あるルールに基づいて自分で作った言葉を自分に語りかけ続ける」というものです。2年生で実施したキャリア教育講座の時にも講師の松村洋子先生がお話しされていました。目標を達成したり何かを成し遂げたりしようとするのなら、今の生活の枠組みの外側(現状維持の延長線上ではないところ)にゴールを置いて、「自分は〇〇をもっている」「私は△△になっている」などとゴールを達成した自分の姿を言葉にしていつも自分に語りかけていくというものです。ただし、「□□しなければならない」ではありません。

多くの専門家が述べているところですが、人間の脳はできるだけエネルギーを使わないようにするため現状維持という選択をしがちだと言います。さらに、「しなければならない」ことに対しては、できない理由をあれこれと探してやろうとしないということがしばしば起こります。「やらなきゃいけない勉強」とか「やらされている仕事」などはその典型例で、言い訳をつけてやらなかったりします。一方で「やりたい」ことに対しては、それができるようにするために真っすぐに進みますから、実現に近づいていきます。英語で言う“have to do”ではなく“want to do”であることが、全ての目標の実現に大きく近づいていくというわけです。

周りからの影響で「作られた」目標ではなく、自分の心から発する言葉で「自分で作った」目標を達成できるよう、一層創意工夫して子どもたちを支援していきたいと考えています。すべての生徒が学びを重ね飛躍できる年になるように、今年も保護者・地域・学校での連携をお願いして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

*『「言葉」があなたの人生を決める』 苔米地英人著 マーク・シューベルト監修 フォレスト出版



高尾山からの初日の出

【令和7年度学校評価アンケート（12月）の結果報告】

12月に実施した教育活動に関するアンケートの結果を報告いたします。今回も、保護者の方からのアンケートはGoogleフォームと質問紙で行いました。

回収率は、91.1%（昨年度比+55.3ポイント）でした。ご協力をいただき、ありがとうございました。

1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない 5 わからない		回答率（％）									
		保護者					生徒				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問1	教育方針の明確な伝達	93.3	0	0	6.7	0	95.5	0	0	4.5	0
問2	学力向上への熱心な取り組み	84.7	0	0	15.3	0	99	0	0	1	0
問3	小中連携行事の周知	99	0	0	1	0	92.9	0	0	7.1	0
問4	安全指導の取り組み	72.3	17.8	2	0	7.9	89.6	8	0.5	0	1.9
問5	人権教育の取り組み	54	29.2	1.5	2	13.4	79.2	16.5	0.5	0.5	3.3
問6	いじめを許さない学校づくり	43.6	24.3	4.5	3.5	24.3	72.6	18.9	2.8	0.5	5.2
問7	学校行事への取り組み	64.4	25.7	3	0.5	6.4	72.6	20.3	2.4	0	4.7
問8	ICT機器の活用などの工夫	54.5	24.8	3	3	14.9	72.6	20.3	2.8	0.5	3.8
問9	学習活動への適切な評価	53	25.7	4	3	14.4	67.5	18.9	3.8	1.9	8.0
問10	生活指導への取り組み	60.9	28.2	1	1	8.9	78.8	15.1	0.9	0	5.2
問11	キャリア教育への取り組み	64.9	22.3	2.5	1	9.4	76.4	15.6	1.4	0	6.6
問12	学習環境の整備	46.5	29.7	6.4	3	14.4	72.6	21.2	0.9	0	5.2
問13	保護者への適切な情報提供	69.3	24.3	4.5	0.5	1.5					
問14	特別支援教育への取り組み	69.8	15.8	0.5	0.5	13.4					

【学校評価アンケートのご意見・ご感想（保護者）から】

〇いつもお世話になっています。〇テスト期間等でも給食がありとても嬉しいです。〇いつもお世話になります。〇ちょうど三者面談も終わり、先生方が担任以外の生徒も日頃からよくみてくださって、担任の先生と情報共有してくださるのでとてもありがたいなと思っていました。〇担任の先生も言葉を選び子どもに伝わりやすく温かく伝えてくださっていたのが印象的でした。△3学年の社会の先生が常勤ではなく、分からない事が質問できない。模範解答もなくわかりにくいのが解決できない。受験生としては不便。〇親に対してはすいぶん反抗的な部分が目立ちますが、信頼できる担任の先生と顧問の先生に囲まれて幸せなことだと思います。〇先生方には感謝がありません。〇ありがたいございます。〇いつも先生方には娘が大変お世話になり、感謝しております。〇良い意味でのんびりしていて、子どもたちにあまり負荷をかけない良い雰囲気の学校だと感じており、その点で親も安心して通わせております。△同時に学習の面で、都の平均と比べるとあまり成績が良くないので、高校に行ってから苦労しないかと少し心配しております。〇放課後学習教室の取り組みが大変ありがたいです。〇個人面談で担任の先生に質問したことを、確認して答えていただけたことありがとうございました。□娘は分からない学習内容を持ち帰ってきてよく嘆いて（わめいて）いるので、自分から聞きに行くよう伝えていますが、なかなか聞きづらいうので、まなび教室などで質問したり、自習のコツなどを体験したりできるとありがたいです。〇娘はバドミントン部に入り、担当の先生方のおかげでスポーツの楽しさや、互いに努力しあい励まし合うことで得られる充実感を学ぶことができています。土日の大会や練習など、顧問の先生方のご負担が気になりつつも、親としてはありがたいと、先生方がここまでやってくださるなら親もできることは学校に協力したいと感じております。ここまでやってくださっている先生方には、他の職務軽減などの工夫を検討していただきたいです。□特別支援について、5組の皆さんとの交流はあまり多くはないという印象をもっているのですが（違ったらすみません）、部活や行事以外でも、普段の生活でも交流が少しでも増えると、子ども同士の人としての学びが深まるのではないかなと勝手に考えております。当たり前の優しさがもてる子どもたちや地域になってほしいです。△こちらのアンケートで気付いたことで一点。1～3の回答選択肢に「こちらを選択できません」というものがありましたが、これは不要な項目かと思いました。〇とても良い学校だと思います。〇とても良い学校で、子供も毎日楽しそうで何よりです。□ないです。△合唱コン練習の時、まだ全く揃っていないのに先生方もふざけていて練習が進まない時があって不安を感じている子供たちもいたようです。△今成績は絶対評価のはずだが、「全員4、5にする訳にはいかない、3以下も一定数必要だ」と公言した教師がいる。△塾からも八王子市内の他校では4教科は4、5しか付けない中学校も結構あるのに、長房中の評価は異常に厳しく、受験において不利で可哀想だといわれた。△ある教師は、小テストの返却後、生徒の申告内容次第で点数UPの修正をしているようだが、一部の女子にだけとても甘い対応をしているようだ。これらの不公平な対応には不信感しかない。△子供から、理由がわからない校則があるときいて。△生徒によって態度を変える先生がいると聞いている。△挨拶をしても返ってこないと言っている。△無視される心当たりもないと言っている。〇子供の良いところを評価して、伸ばすような声かけを行ってくださり感謝しています。△授業中に私語が多いことがあるようで、先生の話が聞きにくいときがあるようです。先生が注意しても止まないそうです。これから3年生になり受験期に入っていくので心配です。△小学校では毎日PC使用し様々なものに取り組んでいたが中学に上がってからは触れていない。ここから1番活躍すべきものではないですか？高校生になってからまた苦労するのが目に見えて。△進路指導対策がや弱い。〇先生方に迷惑を掛けているのも聞かれます。担任の先生をはじめとし、子供を見捨てないで指導していただきありがとうございます。卒業まであと1年強、こちら全力で向き合いますのでどうぞ宜しくお願いします。〇先日の合唱コンクールは子供達の素晴らしい歌声に感動しました。みんなで頑張って練習した事が伝わってきました。〇部活もですが、子供達が一生懸命、頑張る姿が見て嬉しいです。それも全て先生方が一生懸命、支えてくれているからだだと思います。〇いつもありがとうございます。△全員一律の提出物を大量に課するのはやめてほしい。学力の個人差が大きく、結果として子どもたちの成長につながりにくいことにもっと問題意識を持ってほしい。強調したいのは以下の2点。一つ目として、ワークなど標準として何かを示しつつ学力のレベルに応じて難しいものや易しいものを選んだら良いのでは。学力の低い子でもそれをやりきったら自信になるし、基礎も身につく。やりきったことをしっかり評価してあげれば良い。勉強が進んでいる子は難しい課題にチャレンジしてより力を伸ばしたらいいと思う。二つ目として、丁寧なフィードバックは子供達の成長に必須であることを教職員一同肝に銘じてほしい。フィードバック抜きに結果だけで点数をつけるのは指導ではなくただの事務作業である。課題を出すにせよちゃんとフィードバックできる分だけにすべきである。学習効果の低いワーク、提出物が子どもたちの貴重な時間を奪い、それによって成績をつけられている現実に自覚を持ってもらいたい。以上、何卒宜しくお願い申し上げます。

おたる川展のお知らせ

期間 令和8年（2026年）1月15日（木）から1月19日（月）まで
時間 午前10時から午後7時まで
※ 最終日 19日（月）は午後3時で終了します。
場所 エスフォルタアリーナ八王子 1階多目的室及び会議室
（八王子市総合体育館） 八王子市狭間町1453番地1
京王高尾線 狭間駅から徒歩1分
※駐車場の数に限りがありますので、来場の際は公共交通機関をご利用ください。



美術部

美術部では部員が描いたイラストを一冊にまとめたイラスト集を発行しています。美術室前があるので、ぜひ、ご覧ください。

サッカー部

八王子市秋季特別リーグ 第4位

